

## 脳の病気や事故の後に こんな症状がありませんか？



### 記憶面

物の置き場所を忘れる  
新しいできごとを覚えられない  
同じことを何度も聞く など

### 注意面

ぼんやりしていてミスが多い  
ふたつのことを同時に行くと混乱する  
作業を長く続けられない など



### 遂行機能面

物事の優先順位や段取りが苦手になった  
1つ1つ指示がないと行動にうつせない  
約束の時間にいつも遅れる など



### 感情面

自分からは何もしようとしない  
人の気持ちをうまく察することができない  
ささいなことでカッとなる など

# 一人で悩まないで

京都市高次脳機能障害者支援センターでは、次のことを行っています。

## 高次脳機能障害専門相談

\*対象は高次脳機能障害やその疑いのある京都市内にお住いの方やそのご家族及び支援者です。

高次脳機能障害に関連した日常生活や社会生活上のお困りごとについて  
支援コーディネーターがご相談に応じます。

高次脳機能障害のある方が住み慣れた環境の中で社会活動に参加できるよう  
関係機関と連携してお手伝いします。

また、専門相談で必要があると判断された方を対象に

- 専門医による診断
- 作業場面での評価プログラム
- 障害学習グループワーク 等もご提案します。



専門相談をご希望の方はまずはお電話ください。

京都市高次脳機能障害者支援センター専門相談ダイヤル

**TEL 075-823-1658**

<受付時間>月曜日～金曜日(祝日・年末年始除く) 8:30～12:00 及び 13:00～16:00

他に、京都市地域リハビリテーション推進センターでは、次の事業も行っています。  
**障害者支援施設での訓練(通所/入所)**

医療リハビリを終えた高次脳機能障害のある方に、記憶や注意力等の認知面やコミュニケーション能力、生活力の向上等を目的としたプログラムを実施します。専門的な視点(PT,OT,ST,心理判定員)を交えて、地域・在宅生活へ向けた支援を行っていきます。

- \*18歳～65歳未満の方が対象です(施設の利用については、京都市民に限りません)。
- \*利用料等が必要です。(障害者総合支援法による障害者福祉サービス)
- \*利用に当たっては、高次脳機能障害の診断が必要であるほかいくつかの要件があります。

ご利用や見学等のお問い合わせは、上記専門相談ダイヤルへお電話ください。

## 高次脳機能障害とは？

交通事故や脳の病気などで脳が損傷を受けた後、左記のような後遺症により、日常生活や社会生活に支障をきたすことがあります。身体的な障害やケガと違い、脳の損傷は、外からは見えないためわかりにくく、本人も周囲の人も戸惑います。（発達障害や認知症とは異なります。）



※左記の主要症状の他に、失語・失行・失認などの症状を伴うこともあります。

私って高次脳機能障害があるのかな？

仕事をしてもうまくいかない

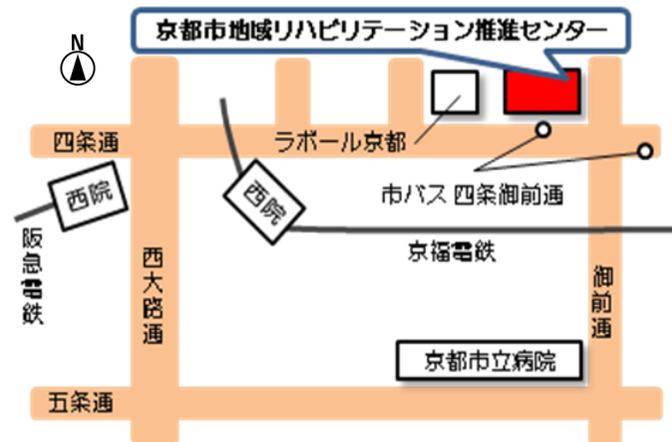
学校に戻りたいけど大丈夫かな？

退院してから家で暮らしていけるかな？

# まずはご相談を！

## アクセス

- 市バス 四条御前通 下車すぐ
- 阪急電鉄 西院駅から 徒歩約6分
- 京福電鉄 西院駅から 徒歩約3分
- 駐車場あり（駐車できる台数に限りがあります。）



京都市高次脳機能障害者支援センター  
（京都市地域リハビリテーション推進センター内）

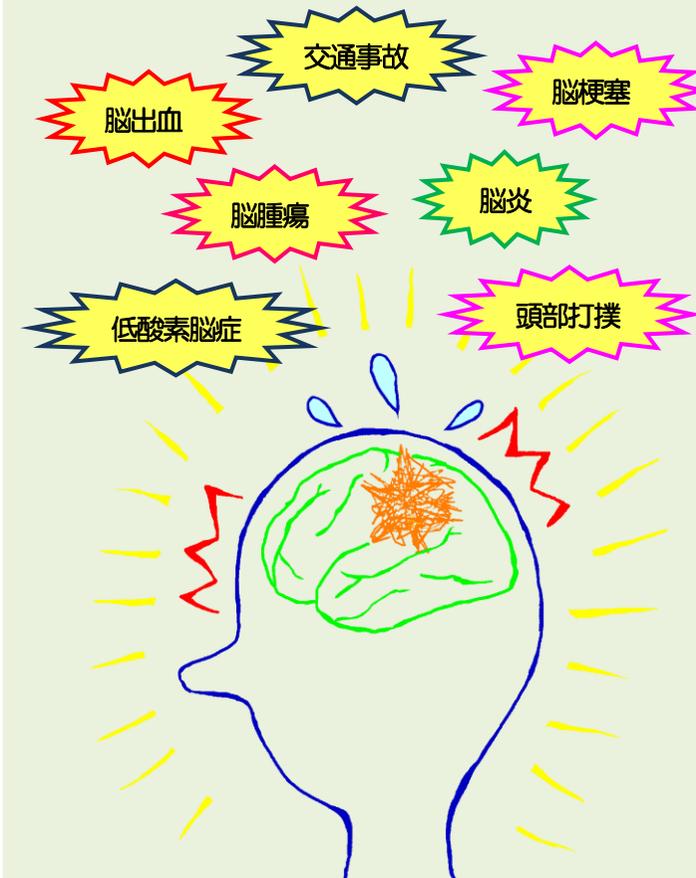
〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30  
TEL: 075-823-1658  
FAX: 075-842-1541

発行 京都市保健福祉局地域リハビリテーション推進センター相談課（平成27年6月）  
京都市印刷物 第274248号



## 脳にダメージを受けたら？

病気や事故で脳を損傷した方へ  
～高次脳機能障害について～



京都市高次脳機能障害者支援センター  
（高次脳機能障害支援拠点機関）

